

◆開催方法: 全面 Web (Zoom ウェビナー) ◆受講人数: 18社 36名 ※受講者の入社後平均年数: 16.64年

満足度の理由を教えてください

(良かった点)

3D 鑄造の理解が深まった (5) / デメリットも開示いただけた (3)
動画が多かった (2. 製造プロセスが分かりやすい) / Web で受講し易かった / 最新設備の使用例
装置業界の流れが分かった / 積層鑄造の現状を知ることができた / 全体のバランスを含め非常に良かった
コストやL/Tについて記載があった / 実動画での動きなど実例が多かった
一品物の鑄造方法として大変面白かった / プリンタ鑄造の特性をある程度理解できた
DMP 利用時の利欠点を知ることができた / 設備メーカーの現状に触れていただけた
自社の試作品に反映できそうであった / 3D 造型の基礎や今後の課題を知ることができた
鑄造技術や鑄造欠陥の新たな知見を得ることができた / 3D 砂型の製造方法の違いを知ることができた
3D プリンタ技術をメーカー任せではなく自社努力で活用し、具体的なことを事例として挙げていただけた
3D プリンタの良い点だけでなく悪い点 (コストに関してなど) もしっかりと説明いただき、資料のボリューム
が多く強度などにも言及している点

(悪かった点、改善点)

砂型の現物写真を詳しく見たかった / 自社製品に活かせる技術ではなかった
積層鑄造の利点をもっと知りたかった / 休憩や質疑の時間を途中で設けて欲しかった
もう少し装置に関して深掘りして欲しかった / 3D プリンタの構造・原理説明がメインで理解が困難だった
要望ですが、実際に 3D プリンタ鑄造で作った品物の現実の肌を見てみたかった
印刷後から型に入れるまでの内容が 1 か所だけでもいただければ良かった (砂型と同じなので割愛されたと考え
ています)

特に参考になった講義内容を教えてください

様々な造形方法・原理の紹介 (2)
積層造形設備メーカーと市場の状況 (2. 自身の業務とは関係ないが主要な装置メーカーと業界の近況は色々な
意味でためになった) / 費用感 / 不具合 / 造形動画 / 製造コスト / 砂型ごとの特徴
装置の動作や基本 / 砂の再生が可能であること / 材質毎の影響、損益分岐点
砂型の積層造形の分類と特徴 / 製造工程と装置の構造 (特に 4. 積層造型装置の構造)
砂が型となるその過程をモデルで示されていたところ
プリンタの段取り作業 (メリットばかり聞き及んでいた為)
どのような製品を製造しているか紹介がありイメージし易かった

他の方へ受講を推奨・進言する理由

砂型 3D プリンタ業界の知識向上の為 (3) / 基本から分かり易く丁寧な説明があったから (2)
短納期試作 / 業務に役立つ / 鑄造工程の考え方の幅が広がる / 会社的に必要があればそのときに
展示会では聞けない情報が手に入る / 鑄造技術への興味・理解を促す為
講師「企業」の具体的な事例が聞ける / 3D プリンタ鑄造を試作で使用する際に参考となる

設備利用するにあたり原理原則を知ることができる

鑄造課を有している為、知識向上を目的として受講を薦める

あまり注意の向かない部分（段取り作業：デパウダリング工程、熱処理など）にも触れてもらえるから

以上